



# 平成31年度事業計画

一般社団法人みよし観光まちづくり機構

# 一般社団法人みよし観光まちづくり機構

## 平成31年度事業計画

### 1 経営方針

みよし観光における「稼ぐ力」と「交流」の創出

#### 目 的

三次市への新たな人の流れを生み出し、「稼ぐ力」「新たな仕事」を創出します。

また、三次市を訪れる人たちと住民との「交流」による新たな人間関係・文化の創造をめざします。

もって、地域への愛着と誇りを育み、住み続けられる三次市をめざします。

#### (1)「稼ぐ力」「新たな仕事」の創出

三次市の「稼ぐ力」「新たな仕事」を創出していくために、観光消費額の増大、観光客の増大、観光消費の域内調達率の向上を目標に掲げ、三次市、関連団体・関連事業者、住民と議論を深め、目的・目標を共有しながら事業を推進します。

#### (2)「交流」による新たな人間関係・文化の創造

三次市を訪れる人たちとの交流の中で、三次市の資源の発見（再発見）とそこから新たな価値や文化が生まれ、地域の活力が高まるために、交流のための「場」をつくっていきます。

### 2 事業計画

#### (1)戦略的な観光振興をめざして—収集・調査・分析・共有—

##### ①観光振興をめぐるトレンドの収集・調査・分析

インバウンドや国内旅行の現状やトレンド情報、また、国をはじめとする観光振興施策や特徴のある観光振興の取組などを収集するとともに、三次市の観光の現状を調査し、本機構としての分析を加えたデータを各観光協会、経済団体、観光関連事業者、そして三次市の観光振興に深い関心を抱き、現状を変えようとする気持ちを有している市民の皆さんに提供します。

収集、調査をしたデータと共に、関係の皆さんが収集されたデータや日々の事業や活動の中で得られた知見を持ち寄っていただき、観光振興をめぐる分析や未来へ向けての方向性の共有を図ります。

#### □市と連携して実施する調査

- A 観光客実態調査（観光の目的・回遊回数・消費額等 面接及びweb調査 外国人観光客を含む）
- B 観光関連事業者等調査（域内調達率・受入れ体制に対する現状や要望等 面接調査）

## ②三次市の観光振興の方向性を共有するための場づくり

三次市の観光振興の真の目的は、「稼ぐ力」の創出と外部との「交流」による地域の誇りの発見（再発見）や文化の創造です。つまり経済や文化を含めたトータルとして地域の活力を高め、住み続けられる三次市としていくことです。

この目的を達成するためには、総体としての観光消費額の拡大や一人当たり消費額の拡大、域内調達率の増加など経済的な指標を追及しつつ、三次市からすれば外部人材である観光客との交流による本市の資源の再発見やそれらを契機とした飲食店や宿泊施設、ギャラリーなどの新たな価値の創造が求められます。また、これら新たな価値を創造し地域の活力を高めていくにあたって欠かせないのは、そのための指標（規模感に基づいた数値目標）や達成していくための方向性（どのような観光のまちにしていくのかとうことやその手法、優先順位など）の戦略などを、観光協会や経済団体や行政など関係者はもとより、多くの市民のかたと共有することです。

本機構は、まずは皆さんに、国際的国内的な観光の動向や三次市の現状を共有していただき、議論をし、方向性を見出すための「場」をつくります。

## (2)プロモーション事業（情報発信・広告宣伝・販売促進）

### ①情報発信

ヒトやコトに焦点を当てた三次市の魅力を、WEB等を通じて発信します。本年度は本機構独自のホームページを完成させるとともに、随時更新をしていきます。また、WEBを情報発信のツールとするだけでなく、コミュニケーションツールと位置付けることにより、市内外の方とよりよい関係を築き、販売促進・営業活動へつなげていきます。WEBコンテンツを生かしたパンフレットなど紙媒体ツールの制作配布を行います。さらに、テレビや新聞など各メディアへの積極的な情報提供による拡散をはかります。

- ホームページ 「ヒト・コト」に焦点を当てたストーリー性のあるWEBサイトを構築する。
- SNS Instagram などによる季節の移ろいや「コト・ヒト」に関する情報を発信。
- 紙媒体 WEBコンテンツを生かしたパンフレットなどの紙媒体の制作・配布。
- イベント 三次まるごと博物館に焦点を絞ったプロモーションイベントを開催する。
- パブリシティ 様々なイベントや取組を、新聞やテレビ等のメディアに取り上げていただけるよう積極的なニュースリリースを行う。

### ②販売促進・営業

市外からの三次市への旅行、観光消費額の増大のための仕掛けやツアー造成などの営業活動を推進します。重点的に販売促進や営業を行うエリアや年代層などターゲットを明確にしながら戦略的な取り組みを進めます。

- 日本妖怪博物館をフックとした、三次地区への誘客を促進するための各種の販売促進策、営業の展開
- 教育旅行やインバウンド、グリーンツーリズムを中心とした販売促進策、営業の展開

### (3)観光資源開発事業

#### ①教育旅行・インバウンド開発事業

旅行の形態は、インバウンドも含めて個人旅行へ移行しているとはいえ、グリーンツーリズムの中で修学旅行などの教育旅行は団体旅行であり、インバウンドも、ツアー旅行の比率は高いものがあります。これらの旅行は、旅行会社が手配するのが一般的ですが、特に教育旅行は、個々の受け入れ先を手配、調整しつつ、旅行会社や学校等との橋渡しをする機能が必要となります。このような機能を誰が担うのか、どうこのシステムを組んでいくのかが課題となっており、関係者間での情報の共有やシステムを作り上げるための議論を進めます。また、インバウンド事業の促進については、訪日外国人の旅行スタイルも個人旅行へシフトしつつあり、JRのフリーパスを使った旅行者個人の関心や趣味に沿った旅行や、一定の場所への長期の滞在などバラエティに富んできています。これらの旅行者へのアプローチについても、議論を進めていきます。

また、町中、農村部を問わず、民泊や飲食など人が集う場所の受け入れ態勢の充実が必要です。事業を展開しようとする人たちを発掘し、事業を起こすための環境の整備も必要となります。この分野の方向性についても議論を進めていきます。

#### ②食の開発事業

三次市は、農産物や畜産物、水産物などの食の資源を有しています。これらの資源を生かした、三次ならではの食（加工食品を含む）の開発に向けて、調査やテストマーケティングに取り組みます。

#### ③熱気球イベント開発事業

平成30年度に開催した「みよしバルーンミーティング2019」は、中国四国地方では、熱気球イベントがないということもあり、2日間で約3000人が来場されました。その後も、「次はいつ開催されるのか。」という問い合わせも寄せられており、冬場の観光資源としてのポテンシャルの高さが実証されました。引き続き、三次市の冬の観光イベントとして、より、皆さんに楽しんでいただき、地域への経済効果もあがるよう工夫しながら進めます。

#### ④三次地区観光資源開発事業

三次市観光の主要エリアである酒屋地区から多様な資源を有する三次地区（三次町）への回遊を促すとともに、三次地区から市内全域への回遊を促進していくことは、三次市の観光戦略の柱です。そのためには、三次もののけミュージアムをフックに三次地区全体の観光まちづくりを進めなければなりません。そのために、引き続き、次の事業を柱に三次地区の観光資源開発を推進します。

#### □三次まると博物館の展開

三次地区内の回遊を促進するために、「三次地区の文化・観光まちづくりを進める会」など

と連携して、案内看板やマップの制作配布、スタンプラリーやイベントなどに取り組みます。

また、三次地区内の空民家を活用した立ち寄りスポットの開発や、妖怪をテーマにしたオブジェの設置など、「まち歩き」を楽しむことのできる環境の創出を推進します。

□住民活動と一体となった取組の展開

地域住民・市民を中心に結成されている「三次地区の文化観光まちづくりを進める会」の事務局として住民活動と一体となった取組を進めます。

□三次地区の観光まちづくりのマネジメント機能の形成

三次地区の観光まちづくりのプロデュースやマネジメントができる人材の発掘や養成に取り組みます。

⑤三次地区文化・観光まちづくり交流館交流イベント事業

三次まると博物館と連動しながら、交流館を活用したワークショップやマルシェなど交流イベントを開催します。

また、観光案内の充実や三次地区の歴史や文化の紹介を交流館に限らず、三次まると博物館の展開の中で推進します。

みよし観光まちづくり機構 平成31年度事業(案)

(千円)

項目	事業内容	事業内容	予算額
調査・分析事業、戦略の共有			
(1)観光調査・分析	マーケティング戦略を構築するための調査(Web調査等)及びその分析	調査(Web調査等)及び分析	1,500
(2)情報・方向性の共有を図るための場の設置	観光振興をめぐる国内の動向や調査に基づく三次市の現状を共有し、観光振興の方向性や戦略を共有化するための場の設置	観光協会、経済団体、行政及び観光振興に関心や知見を有する市民などによる共有の場を設ける	
		小計	1,500
プロモーション事業(情報発信・広告宣伝・販売促進)			
(1)プロモーション事業(三次市全域:情報発信・広告・宣伝・販売促進)	観光プロモーション(HP構築・HPコンテンツの取材編集更新・パンフレット作成配布)	HP構築	2,160
		HP構築にかかる取材・編集	1,500
		三次市全域のPRパンフレットの作成・配布	5,000
		パンフレットスタンド設置使用料(広島空港)	340
	ARアプリを活用したスタンプラリーなどのプロモーションイベントの展開	市内各地域でARアプリを活用したスタンプラリーなどのプロモーションイベントの支援(ARアプリの使用料及びコンテンツ制作経費)	2,000
(2)三次地区プロモーションイベント	プロモーションイベントの企画・開催	もののけ祭や百物語ナイトなどプロモーションイベントの開催	1,000
		小計	12,000
3 観光資源開発事業			
(1)教育旅行・インバウンド開発事業	教育旅行等開発事業		500
	インバウンド開発事業		500
	みよし田舎ツーリズム協議会との連携 教育旅行等を視野に入れた情報発信の推進(機構 WEB 等での情報発信)		500

(2)食の開発事業	食の開発事業 三次産の食材(豚肉など)を活用した三次ならではの食(加工品を含む)の開発事業		2,000
(3)熱気球イベント 開発事業	熱気球イベントの誘致及び係留 熱気球体験		5,000
(4)三次地区観光資源 開発事業	三次地区の文化・観光まちづくりを進める会	進める会の事務局としての活動	1,000
	三次地区開発プランの作成		0
	回遊促進・古民家活用事業	三次地区内の回遊を促進するための、案内看板やマップ、古民家を活用した立ち寄りスポットの開発、オブジェの設置などの推進	5,400
(5)三次地区文化・ 観光まちづくり交流館	交流イベント事業	交流館を会場としたワークショップやイベント(マルシェなど)の開催	2,000
		泉谷しげるアートオブライブ展	1,600
		小計	18,500
		合計	32,000

#### (4)三次地区文化・観光まちづくり交流館管理事業

三次地区の観光振興の核である三次地区拠点施設（湯本豪一記念日本妖怪博物館及び三次地区文化・観光まちづくり交流館）のうち、「三次地区文化・観光まちづくり交流館」の指定管理者として、交流館の管理業務を進めます。

#### 平成31年度交流館管理事業(案)

(千円)

項 目	内 容	予算額
1 収入の部		
指定管理料	三次市	2,758
賃貸料	飲食部門賃貸料(181,000×12)	2,172
施設使用料	諸室使用料	1,050
負担金	飲食部門水道光熱費	1,200
計		7,180
2 支出の部		
水道光熱費		3,800
委託費	清掃・警備等委託費	2,880
一般管理経費	消耗品費・通信費	500
計		7,180
	収入合計	7,180
	支出合計	7,180



(5)三次地区文化・観光まちづくり交流館売店事業

本機構の独自事業として交流館の売店事業を行います。本事業は、「妖怪」をモチーフとした商品の開発や販売をとおして、日本妖怪博物館の付加価値を一層高めるとともに、三次市内事業者のテストマーケティングの場として事業者の育成の一助を担うものです。と同時に収益事業である限り、採算性の確保は前提となります。目的と採算性を両立させながら本事業を推進します。

平成31年度交流館売店事業(案)

(千円)

項 目	内 容	予算額
1 収入の部		
売上高	全体来館者数(120,000人)×購入率(48%)×購入単価(744円)×交流館売上比率(62.5%)	26,784
繰越金	平成30年度長期借入金繰越金	2,000
繰入金	基金から繰入	5,000
計		33,784
2 支出の部		
商品仕入	商品仕入(26,784,000円×75%)	20,088
販売管理費		
人件費	パート職員賃金・法定福利費	3,000
消耗品費	包装用資材他	2,000
支払い手数料		300
使用料及び賃借料	POSシステム使用料他	1,000
借入金返済	長期借入金返済 85,000円×12か月	1,020
繰出金	基金へ繰出	5,000
計		32,408
	収入合計	33,784
	支出合計	32,408

一般社団法人みよし観光まちづくり機構 平成31年度収支予算(案)

1 収入の部

(千円)

	本部	調査・分析事業	プロモーション事業	資源開発事業	交流館管理事業	交流館売店事業	計
受託料収入	0	0	0	0	2,758	0	2,758
補助金収入	28,000	1,500	12,000	18,500	0	0	60,000
負担金	0	0	0	0	1,200	0	1,200
長期借入金	0	0	0	0	0	0	0
売上高	0	0	0	0	0	26,784	26,784
賃貸料	0	0	0	0	2,172	0	2,172
施設使用料	0	0	0	0	1,050	0	1,050
繰越金	0	0	0	0	0	2,000	2,000
繰入金	0	0	0	0	0	5,000	5,000
雑収入	0	0	0	0	0	0	0
収入合計	28,000	1,500	12,000	18,500	7,180	33,784	100,964

2 支出の部

役員報酬	8,076	0	0	0	0	0	8,076
給与手当	9,631	0	0	0	0	2,900	12,531
法定福利費	2,309	0	0	0	0	100	2,409
報償費	0	0	300	0	0	0	300
旅費交通費	600	0	0	0	0	0	600
水道光熱費	0	0	0	0	3,800	0	3,800
消耗品費	1,000	0	600	940	200	2,000	4,740
燃料費	60	0	0	0	0	0	60
通信費	317	0	0	0	300	0	617
支払手数料	100	0	0	0	0	300	400
外注費(委託料)	1,346	1,500	9,660	17,500	2,880	0	32,886

使用料及び賃借料	1,103	0	1,440	50	0	1,000	3,593
地代家賃	325	0	0	0	0	0	325
保険料	0	0	0	10	0	0	10
負担金	2,405	0	0	0	0	0	2,405
借入金返済	0	0	0	0	0	1,020	1,020
雑費	628	0	0	0	0	0	628
商品仕入	0	0	0	0	0	20,088	20,088
繰出金	0	0	0	0	0	5,000	5,000
租税公課	100	0	0	0	0	0	100
支出合計	28,000	1,500	12,000	18,500	7,180	32,408	99,588

差引収支差額	0	0	0	0	0	1,376	1,376
--------	---	---	---	---	---	-------	-------